

第60回談話会

「ヴェリズモオペラにみる男性像 歌劇『道化師』3つの愛」



19世紀末のイタリアにあらわれたヴェリズモの風潮はオペラにも大きな影響を与えました。歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』と並んでヴェリズモオペラの代表作と称される『道化師《I Pagliacci》』を視聴しながら、愛の表現を読み解いていきたいと思えます。レオンカヴァッロ自ら台本を作成、作曲し、イタリアの地を舞台に展開するこの歌劇は、「イタリア的」要素を音楽とともに眼前に映し出しました。ネッダと彼女を取り巻く3人の男性それぞれの愛の形について、歌詞の文体・ニュアンスを理解しながら一緒に味わいましょう。

日 時 2011年2月19日(土) 会食 12:45～13:45 お話 13:45～15:00
(12:30までにお集まりください)

会 場 三笠会館本店5階宴会場

講 師 武田 好(星美学園短期大学准教授)

会 費 会員3700円 受講生4200円 一般 4500円

定 員 60名(先着順)

申込方法 お電話(03-3402-1632)にてご予約後、会費をご予約名で
お振込み下さい

三菱東京UFJ銀行 青山通支店 普通 0123662

名 義：財団法人日伊協会

また、インターネットでもお申し込み頂けます。

～武田 好(たけだ よしみ)～

大阪外国語大学(現大阪大学)大学院外国語学研究科イタリア語学専攻修了。1998年から2009年までNHKラジオイタリア語講座講師。著書に『イタリアオペラに行こう アリアでたどる愛と情熱の世界』(NHK出版)、訳書に『マキアヴェッリの生涯 その微笑の謎』(白水社)、など。現在、星美学園短期大学人間文化学科イタリア語イタリア文化コース准教授、慶應義塾大学講師ほか